嘱託職員待遇改善の団交で

年収 264 万円から 301 万円にアップ！

組合の粘り強い交渉で実現しました！

北海道大学教職員組合は、今年の２月２７日及び３月４日に、北海道大学の嘱託職員の待遇改善を求めて団体交渉を行い，貴重な成果を上げました。ご報告いたします。

組合は団交で、現行の嘱託職員の給与が国家公務員の再雇用職員や道内の他大学の嘱託職員と比べても数十万円も低いという実態を示し、早急な待遇改善を求めて交渉した結果、下記の表のように、約 1.7 カ月分相当の「期末特別調整手当」支給をかちとりました。また、これまで無給であった「病気休暇」も、交渉の結果，特任教員を含めて 10 日間の「有給」を実現しました。

この成果は、組合が，国家公務員及び道内他大学などを調査し、嘱託職員の待遇があきらかに低水準であることを明確にして取り組んだこと，また，「団体交渉」を含めて、ビラの作成配布や，アンケートなどにご協力ご支援いただいた、多くのみなさんのおかげと考えています。ご協力に感謝します。ありがとうございました。

①本年4月1日より「期末特別調整手当」を支給する※。

②無給であった病気休暇を、有給とするとともに取得できる休暇日数は10日間とする。

※期末特別調整手当の詳細

基本給月額	期末調整手当年額（6月期／12月期）	新しい年間支給額	現在の年間支給額
320,000 円	544,000 円（224,000 円／320,000 円）	4,384,000 円	3,840,000 円
270,000 円	459,000 円（189,000 円／270,000 円）	3,699,000 円	3,240,000 円
220,000 円	374,000 円（154,000 円／220,000 円）	3,014,000 円	2,640,000 円
180,000 円	306,000 円（126,000 円／180,000 円）	2,466,000 円	2,160,000 円

組合は、働きやすく働きがいのある職場をめざしています！

2014.3.18

北海道大学教職員組合

組合が動いてこそ、
要求が実現する！

組合が動いてはじめて、要求が実現する・・・・。あたりまえのようですが、今年の団体交渉でそのようなことがまさに実証されました。

昨年の１０月に組合は、嘱託職員部会を発足させ、さっそく、嘱託職員の待遇の低さについて話し合い，調査をすすめるとともに、どうしたら待遇改善が可能かを話しあいました。

その中で、ボーナスの出ない北大の待遇が他大学との比較でも悪いことや、週 31 時間勤務で年金を満額もらう方がフルタイムで働くよりも実質の収入が多いことが明らかになりました。このような問題を改善するために、昨年１２月下旬、組合は大学に対して団体交渉を申し入れました。

他大学と肩をならべるところまでになりました

大学名	月額	級	ボーナス合計	ボーナス額	年収	北大との差額
北海道教育大学	214,000 円	２級	２．１カ月	４４万９千円	３０１万円	０円
小樽商科大学	214,000 円	２段階	２．１カ月	４４万９千円	３０１万円	０円
帯広畜産大学	213,400 円	２級	２．１カ月	４４万８千円	３００万円	▲１万円
道内高専	213,400 円	２級	２．１カ月	４９万円	３０５万円	４万円
北海道大学	220,000 円		期末特別調整手当（1．7カ月分相当）	３７万４千円	３０１万円	０円

あなたも

組合に入りましょう！